

サービス産業について知りたいあなたへ ～第3次産業活動指数についてネットで分かること～

経済解析室

Ver.2.0



平成28年度
経済産業政策の
重点

詳細はこちら



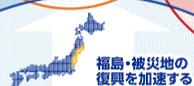
経済社会の持続性を
高める



イノベーションによる成長実現
- 未来投資による生産性革命 -



世界と一体的に
成長する



福島・被災地の
復興を加速する



安定的なエネルギー
環境基盤を確立する

統計

English 印刷

統計

統計の公表 新着情報

平成27年

- 12月9日特定サービス産業動態統計速報(10月分)
- 12月9日スポットLNG価格調査(11月分)
- 11月30日石油統計速報(10月分)
- 11月30日商業動態統計速報(10月分)
- 11月30日鉱工業生産・出荷・在庫指数速報(10月分)
- 11月30日経済産業省生産動態統計速報(10月分)
- 11月19日平成27年情報通信業基本調査速報
- 11月19日全産業活動指数(9月分)
- 11月17日特定サービス産業動態統計速報(9月分)
- 11月16日経済産業省生産動態統計 時系列表(61ヶ月)
- 11月13日商業動態統計速報(9月分)

統計の公表 その他のお知らせ

- 10月18日は「統計の日」です。

東日本大震災
統計 関連情報

統計情報を配信しています

- 新着情報RSS配信
- 公表スケジュール
- 統計メールマガジン
- 経済産業省の主な景気指標
- facebook (経済解析室)

主要統計

- 指数
- > 鉱工業指数 (IIP)
- > 第3次産業活動指数
- > 全産業活動指数
- > 鉱工業出荷内訳表、総供給表

当室が公表している第3次産業活動指数は経済産業省のHPから御覧いただけます。

主要統計

指数

> 鉱工業指数 (IIP)

> 第3次産業活動指数

> 全産業活動指数

> 鉱工業出荷内訳表、総供給表

次ページからは「第3次産業活動指数でこう いうことが知りたいのにどこを見れば良いのか わからない！」という方への案内スライドです。

目次

1. 今月のサービス産業は良かったの？悪かったの？ [P.3~4](#)
2. じゃあ何のどんな業種が良かったの？悪かったの？ [P.5~6](#)
3. もうちょっと細かい数字をみてみたい！ [P.7~8](#)
4. グラフや表で動きをみてみたい！ [P.9~10](#)
5. 過去のサービス産業の概要をみたい！ [P.11~13](#)
6. もっと長い推移をみてみたい！ [P.14](#)
7. 業種が細かすぎてよくわからない！もっとざっくりしたのはないの？ [P.15~16](#)
8. もう少し詳しい解説をして欲しいんだけど… [P.17~18](#)
9. 数字ばかりでおもしろくない！もっと興味がわくものはないの？ [P.19~20](#)

今月のサービス産業は良かったの？悪かったの？

<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sanzi/result-1.html>

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

第3次産業活動指数
最新結果の概要

結果の概要 ● 業種別動向 ● ダウンロードのご案内

最新月次データ 時系列データ サービス産業(第3次産業)活動図表集 過去の月次データ 3次指数紹介マンガ

結果の概要【プレス情報 2016年4月分】(2016年6月10日発表)

第3次産業活動は一進一退

- 平成28年4月の第3次産業活動指数は、104.6、前月比1.4%の上昇。
- 広義対個人サービスは同0.8%、広義対事業所サービスは同2.2%のそれぞれ上昇となった。
- 総じてみれば、第3次産業活動は一進一退で推移している。

	2016年4月		2016年1-3月期	
	前月比	前年同月比	前期比	前年同期比
第3次産業活動指数	1.4	1.1	0.2	0.9
広義対個人サービス	0.8	0.6	0.0	0.6
広義対事業所サービス	2.2	1.5	0.1	1.2

第3次産業活動指数HPの最初に表示される画面になります。結果の概要について簡単に説明したページです。スマホ対応のページですので、スマホやタブレットからでも表などが見やすくなっています。



今月のサービス産業は良かったの？悪かったの？

<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sanzi/result-1.html>

結果の概要【プレス情報 2016年4月分】(2016年6月10日発表)

－ 第3次産業活動は一進一退 －

- 平成28年4月の第3次産業活動指数は、104.6、前月比1.4%の上昇。
- 広義対個人サービスは同0.8%、広義対事業所サービスは同2.2%のそれぞれ上昇となった。
- 総じてみれば、第3次産業活動は一進一退で推移している。

単位：%

	2016年4月		2016年1-3月期	
	前月比	前年同月比	前期比	前年同期比
第3次産業活動指数	1.4	1.1	0.2	0.9
広義対個人サービス	0.8	0.6	0.0	0.6
広義対事業所サービス	2.2	1.5	▲ 0.1	1.2

冒頭の「第3次産業活動は…」という箇所は「**基調判断**」というもので、最近の動向を含めた上で、今の第3次産業活動の活況度合いをひと言で表したものです。

第3次産業の総合指数と一緒に主に消費者に対するサービスである**広義対個人サービス**、主に企業に対するサービスである**広義対事業所サービス**についても掲載しています。

じゃあ何のどんな業種が良かったの？悪かったの？

<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sanzi/result-1.html>

H28年
4月分

上昇
3業種

業種別動向	
• 内訳の大分類業種では、11業種中、卸売業など6業種が上昇、医療、福祉など5業種が低下。	
表1. 第3次産業総合を大きく動かした業種と主な要因	
業種名	主な要因
上昇方向に影響した業種	
卸売業	医薬品・化粧品等卸売業や産業機械器具卸売業、電気機械器具卸売業が上昇（化粧品類や資本財の出荷が大きく上昇している）。
事業者向け関連サービス	技術サービス業のうち土木・建築サービス業が、年度明けに受注が増えた建設コンサルタントを中心に大きく上昇。
金融業, 保険業	3月に大きく落ち込んだ株式売買高が多少戻した。

H28年
3月分

低下
3業種

上昇
1業種

業種別動向	
• 内訳の大分類業種では、11業種中、金融業, 保険業など5業種が低下、事業者向け関連サービスなど6業種が上昇。	
表1. 第3次産業総合を大きく動かした業種と主な要因	
業種名	主な要因
低下方向に影響した業種	
金融業, 保険業	株式の取引量が減少したことにより流通業務が低下。
卸売業	電気機械器具や産業機械器具等の機械器具卸売業が大きく低下（家事用、テレビ等の教養・娯楽用の3月の耐久消費財出荷が低下している）。
情報通信業	ソフトウェア業、特に受注ソフトウェア業が、官公庁や金融機関からの発注一巡などにより大きく低下。
上昇方向に影響した業種	
事業者向け関連サービス	土木・建築サービス業や機械設計業などの技術サービス業を中心に上昇。

先ほどのページの中段に掲載されています。

今月の第3次産業の上昇or低下に大きく寄与した（影響を与えた）業種の主な要因を寄与が大きい順に紹介しています。

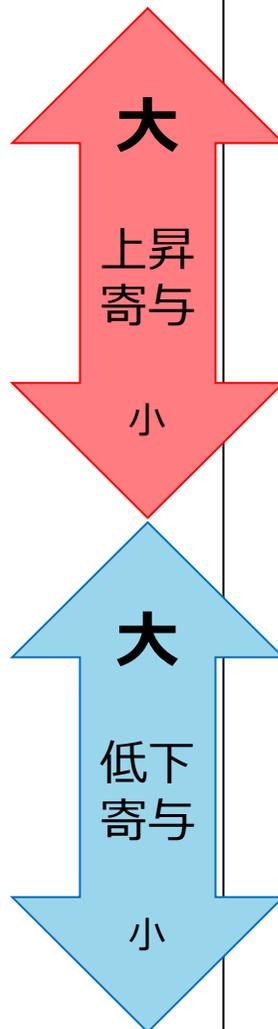
月によって第3次産業総合と同じ方向だけでなく逆方向に寄与した業種についても要因を掲載しています。

じゃあ何のどんな業種が良かったの？悪かったの？

<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sanzi/result-1.html>

表2. 大分類業種の前月比と寄与度

平成22年 = 100		
業種名	前月比(%)	前年同月比(%)
寄与した主な内訳業種	(寄与度)	
<上昇業種>		
卸売業		
医薬品・化粧品等卸売業	3.5	2.4
産業機械器具卸売業	(0.49)	
電気機械器具卸売業		
事業者向け関連サービス	4.6	4.6
土木・建築サービス業	(0.35)	
金融業, 保険業	3.1	▲ 0.1
流通業務	(0.31)	
情報通信業		
ソフトウェア業	2.4	1.7
情報処理・提供サービス業	(0.26)	
不動産業		
マンション分譲業	1.9	1.0
戸建住宅売買業	(0.15)	
貸事務所業		
運輸業, 郵便業	0.8	▲ 0.3
一般貨物自動車運送業	(0.07)	
<低下業種>		
医療, 福祉	▲ 1.3	3.3
	(▲ 0.18)	
電気・ガス・熱供給・水道業	▲ 2.2	▲ 3.7
	(▲ 0.06)	
小売業		
機械器具小売業	▲ 0.2	▲ 0.7
各種商品小売業	(▲ 0.02)	
生活娯楽関連サービス		
プロスポーツ (スポーツ系興行団)	▲ 0.1	▲ 1.6
スポーツ施設提供業	(▲ 0.01)	
物品賃貸業 (自動車賃貸業を含む)	▲ 0.2	1.7
	(▲ 0.01)	



要因表の下には第3次産業の上昇or低下に大きく寄与した（影響を与えた）順に各業種の前月比、寄与度などを表で掲載しています。

内訳業種の中でもどの業種が寄与したのか（影響を与えたか）についても掲載されています。

この月は第3次産業総合が上昇したので上昇→低下の順で掲載されています。総合が低下した場合は逆になります。

もうちょっと細かい数字をみてみたい！

<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sanzi/result-1.html>

<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sanzi/result-2.html>



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

ホーム 経済産業省について お知らせ 政策について 統計 申請・お

統計 > 第3次産業活動指数(トップページ) > 集計結果又は推計結果 > 最新結果の概要

第3次産業活動指数
最新結果の概要

結果の概要 業種別動向 **ダウンロードのご案内**

最新月次データ 時系列データ サービス産業(第3次産業) 過去の月次データ 3次指数紹介マンガ

先ほどのページ上部にあるアイコン



時系列データ

もしくは「ダウンロードのご案内」から「時系列データのダウンロード」という箇所があります。

こちらから細かいデータをダウンロード出来るページに飛ぶことができます。



ダウンロードのご案内

- 最新月次冊子(PDF形式: 1,844KB) (2015年9月分)
- 第3次産業活動指数 参考資料(PDF形式: 610KB) (2015年9月分)
- 時系列データのダウンロード**
- 過去の月次冊子 (2011年1月分以降)

最終更新日: 2015年11月13日

ページ上部へ戻る

もうちょっと細かい数字をみてみたい！

<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sanzi/result-2.html>

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

ホーム | 経済産業省について | お知らせ | 政策について | 統計 | 申請・お問合せ | English

統計 > 第3次産業活動指数(トップページ) > 集計結果又は推計結果 > 統計表一覧(データ)

第3次産業活動指数

集計結果又は推計結果

- 最新結果の概要
- 統計表一覧(データ)
- 利用上の注意、用語
- 過去の結果概要

統計表一覧

公表資料

最新月次冊子 (PDF形式) (2015年10月分) (2015年12月14日発表)

データダウンロード

《 時系列データ 》 2008年1月～2015年10月 UPD:2015-12-14 13:30

	Excel形式	Excel形式	csv形式	Excel形式
	原指数	季節調整済指数	原指数、 季節調整済指数	季節指数
年・年度・四半期	b2010_koqi.xls	b2010_ksqi.xls ※四半期のみ	b2010_ki.zip	b2010_ksii.xls
月次	b2010_komi.xls	b2010_ksmi.xls		

※日本標準産業分類準拠(旧基準と同定義)の業種分類(大分類)指数は、こちら
※2007年12月以前については、下に掲載している接続指数をご利用ください。
これは過去の基準の指数を便宜的に平成22年基準指数に接続したものです。

→ 年間公表予定
→ 平成17年基準指数

こちらがそのページです。

「時系列データ」をExcel
もしくはcsv形式でダウン
ロードできます。

毎年繰り返されるような
季節的な変動を除いた
「季節調整済指数」では
前月や前期との比較をす
ることができます。

「原指数」や「季節指数」
をみることでその季節性を
調べることもできます。

いずれも2008年1月から
最新月までのデータです。

グラフや表で動きをみてみたい！

<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sanzi/result-1.html>

<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sanzi/result/reference/slide/result-sanzi-sanko-YYYYMM.html>



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

ホーム 経済産業省について お知らせ 政策について 統計 申請・お

統計 > 第3次産業活動指数(トップページ) > 集計結果又は推計結果 > 最新結果の概要

第3次産業活動指数
最新結果の概要

結果の概要 業種別動向 **ダウンロードのご案内**

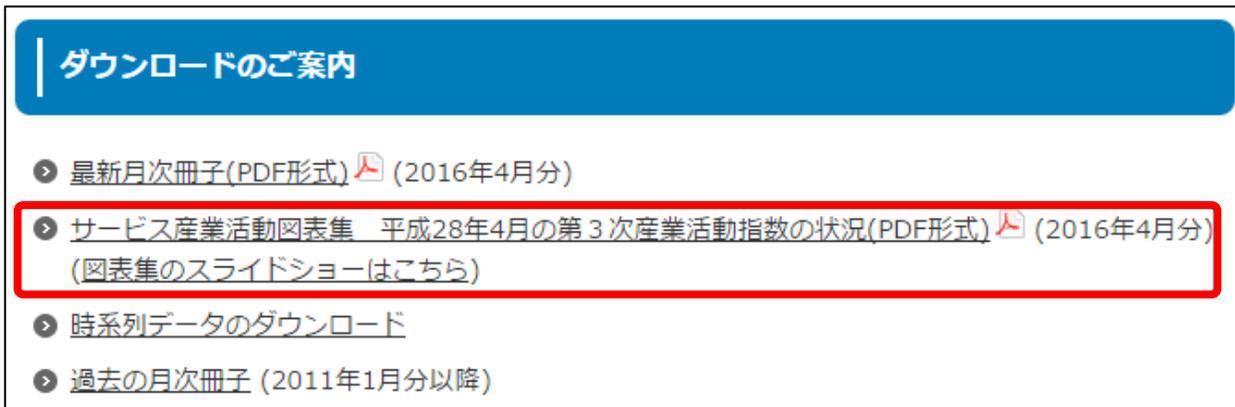
最新月次データ 時系列データ **サービス産業(第3次産業)活動図表集** 過去の月次データ 3次指数紹介マンガ

概要ページ上部にあるアイコン



サービス産業(第3次産業)
活動図表集

もしくは「ダウンロードのご案内」から「サービス産業活動図表集」という箇所があります。



ダウンロードのご案内

- 最新月次冊子(PDF形式) (2016年4月分)
- サービス産業活動図表集 平成28年4月の第3次産業活動指数の状況(PDF形式) (2016年4月分) (図表集のスライドショーはこちら)**
- 時系列データのダウンロード
- 過去の月次冊子 (2011年1月分以降)

こちらから図表集のPDFをダウンロードもしくはスライドショーページに飛ぶことができます。

グラフや表で動きをみてみたい！

<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sanzi/result/reference/slide/result-sanzi-sanko-YYYYMM.html>

平成28年4月のサービス産業活動 図表集

▼ スライドショー ▼ ダウンロードのご案内 ▼ 問合せ先

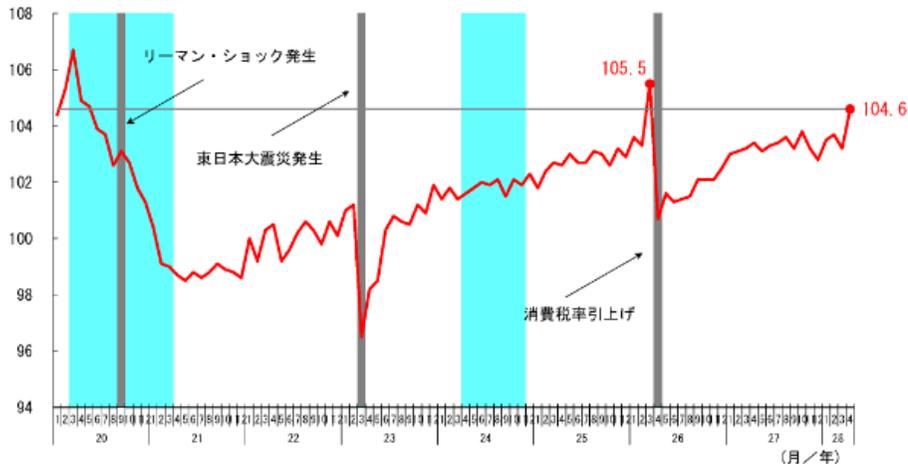
スライドショー

スライドの右側をクリック、タップするとページが進みます。左側をクリック、タップするとページが戻ります。

第3次産業活動指数の動向

- 平成28年4月の第3次産業活動指数は、104.6(前月比1.4%)と2か月ぶりの上昇。
- 平成26年3月の105.5以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



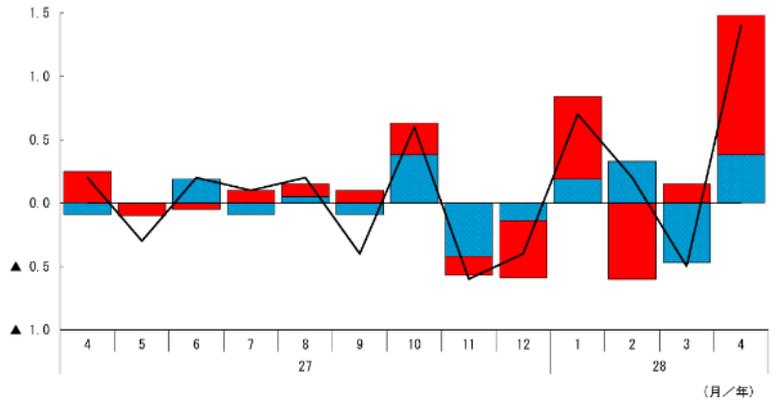
(注) 水色のシャドー部分は異質換算期間。

2

広義対個人サービス/広義対事業所サービス活動(全体への寄与度)の動向

- 平成28年4月の第3次産業活動指数は、広義対事業所サービス、広義対個人サービスともに上昇したため、前月比1.4%の上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント) ■ 広義対事業所サービス ■ 広義対個人サービス — 第3次産業総合



8

こちらはスライドショーのページです。

見やすさを意識したカラフルなグラフのスライドで解説しています。

公表データをもとにグラフを書くといった手間をかけずに、視覚的にとらえることができる内容になっております。

過去のサービス産業の概要をみたい！

<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sanzi/result-1.html>

http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sanzi/ITA_kako_press.html



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

ホーム 経済産業省について お知らせ 政策について 統計 申請・お

統計 > 第3次産業活動指数(トップページ) > 集計結果又は推計結果 > 最新結果の概要

English 印刷

第3次産業活動指数
最新結果の概要

結果の概要 業種別動向 **ダウンロードのご案内**

最新月次データ 時系列データ サービス産業(第3次産業)活動図表集 **過去の月次データ** 3次指数紹介マンガ

ページ上部のアイコン



過去の月次データ

もしくは「ダウンロードのご案内」→
「過去の公表資料」から2011年
1月以降の過去の概要ページも
御覧いただけます。

ダウンロードのご案内

- 最新月次冊子(PDF形式: 1.844KB) (2015年9月分)
- 第3次産業活動指数 参考資料(PDF形式: 610KB) (2015年9月分)
- 時系列データのダウンロード
- 過去の月次冊子(2011年1月以降)**

最終更新日: 2015年11月13日

ページ上部へ戻る

過去のサービス産業の概要をみたい！

http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sanzi/ITA_kako_press.html

第3次産業活動指数

集計結果又は推計結果

■ 最新結果の概要 ■ 統計表一覧(データ) ■ 利用上の注意、用語 ■ 過去の結果概要

ここでは、過去の第3次産業活動指数について、公表当時の内容に基づいた結果の概要、プレス配布冊子等を確認することができます。

過去の結果概要

【平成22年基準】

☑は「結果の概要」 / 📄は「プレス配布冊子」 📖は「参考資料」 / -は未作成

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2015 (H27)	-	-	-	-	-	-	☑ 📄 📖	☑ 📄 📖	☑ 📄 📖	☑ 📄 📖	-	-

注) 「結果の概要」「プレス配布冊子」については、公表当時(統計の概要-データの補正を参照)の内容となっています。

過去の概要ページへはその月の
☑ から飛ぶことができます。

残りの2つのアイコンについても
次ページで御紹介します。

過去のサービス産業の概要をみたい！

http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sanzi/ITA_kako_press.html

公表資料  …その月の第3次産業活動指数について、まとめた公表資料です。直近3か月までは細かい業種で掲載されています。

参考資料(図表集)  …その月の第3次産業活動指数を表やグラフで表したもので、長期的な推移などを視覚的にとらえることができます。

※どちらも公表当時のデータです。

先ほど御紹介した概要ページとこの2つのコンテンツは各月ごとに保存しております。

各月のみの情報をみたい場合はこちらをダウンロードしていただければ概要をつかめると思います。

もっと長い推移をみてみたい！

<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sanzi/result-2.html>

データダウンロード

《 時系列データ 》 2008年1月～2015年10月 UPD:2015.12.14 13:30

	Excel形式	Excel形式	csv形式	Excel形式
	原指数	季節調整済指数	原指数、 季節調整済指数	季節指数
年・年度・四半期	b2010_kogai.xls	b2010_ksqi.xls ※四半期のみ	b2010_ki.zip	b2010_ksii.xls
月次	b2010_komi.xls	b2010_ksmi.xls		

※日本標準産業分類準拠（旧基準と同定義）の業種分類（大分類）指数は、[こちら](#)

※2007年12月以前については、下に掲載している接続指数をご利用ください。

これは過去の基準の指数を便宜的に平成22年基準指数に接続したものです。

→ [年間公表予定](#)

→ [平成17年基準指数](#)

先ほどのスライドで説明したデータでは今基準の2008年1月～最新月までのデータしかみることができません。

それ以前の指数も「**接続指数**」として公表しております。

1998年1月から2014年12月までのデータです。

《 接続指数 》 1998年1月～2014年12月 UPD:2015.9.14 13:30

	Excel形式
	原指数、季節調整済指数
月次	b2010_ITA_linki.xls

※2008年から2014年のデータは、公表している平成22年基準の時系列データ(含む参考系列)と同じものです。

業種が細かすぎてよくわからない！ もっとざっくりしたのではないの？

<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sanzi/result-2.html>

データダウンロード

《 時系列データ 》 2008年1月～2015年11月 UPD:2016.1.18 13:30

	Excel形式	Excel形式	csv形式	Excel形式
	原指数	季節調整済指数	原指数、 季節調整済指数	季節調整済指数
年・年度・四半期	b2010_koqi.xls	b2010_ksqi.xls ※四半期のみ	b2010_ki.zip	b2010_ksqi.xls
月次	b2010_komi.xls	b2010_ksmi.xls		

251	DKED300I	ボウリング場	2.6	14
252	DKED400I	フィットネスクラブ	15.6	9
253	DKED500I	遊園地・テーマパーク	14.3	10
254	DKEF000I	映画館	120.7	11
255	DKF0000I	学習塾	135.1	10
256	DKFA000I	学習塾	113.8	10
257	DKFB000I	外国語学校	21.3	10
258	DKFC000I	自動車学校	5.4	8
259	SBA0000I	サービス業	1346.3	10
260	SBA1000I	対個人サービス業	569.5	8
261	SBA2000I	対事業所サービス業	776.8	11
262	SBB0000I	広義対個人サービス	4846.2	9
263	SBB1000I	広義非選択的個人向けサービス	2641.1	9
264	SBB2000I	広義好的個人向けサービス	2205.1	9
265	SBC0000I	広義対事業所サービス	5153.8	10
266	SBCB100I	製造業依存型事業所向けサービス	1281	7
267	SBCB200I	非製造業依存型事業所向けサービス	3891	7
268	SBD1000I	産業使用者向け卸売業	847.7	11
269	SBD2000I	小売業向け卸売業	681.3	10
270	SBE1000I	消費向けサービス	4846.2	9
271	SBE2000I	投資向けサービス	909.6	10
272	SBF1000I	設備型サービス	2002.9	10
273	SBF2000I	人手型サービス	7997.1	8
274	SBRA000I	観光関連産業	536.4	9
275	SBRB000I	スポーツ関連産業	102.1	7
276	SBRC000I	飲食関連産業	706.6	10
277	SBRD000I	自動車関連産業	362.8	8
278	SBRE000I	資金提供関連産業	531.3	7
279	SBRF000I	建設関連産業	269.1	8
280	SBRG000I	コンテンツ関連産業	283	10
281	SBRH000I	高齢者世帯特化サービス	2575.8	9
282	SBRIO00I	グローバル出荷(海外出荷)指数連動サービス	1560.7	10
283	SBRJ000I	広告関連産業	74.9	7
284	SBRK000I	インターネット広告関連産業	15.4	7
285	SKEA000I	3次総合(除く電気・ガス・熱供給・水道業)	9702	10

第3次産業は企業向けから個人向けサービスまでとても幅広い業種で構成されているため、第3次産業全体の姿というのは、今ひとつピンとこない方もいるかと思います。

そこで、経済解析室では第3次産業に属する個々のサービスを、観光やスポーツといった特徴でグループ分けした系列、「再編集系列」を作成しています。

業種が細かすぎてよくわからない！ もっとざっくりしたのはないの？

<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sanzi/result-2.html>

251	DKED300I	ボウリング場	2.6	14
252	DKED400I	フィットネスクラブ	15.6	9
253	DKEE000I	遊園地・テーマパーク	1.1	11
254	DKEF000I	パチンコホール	20.7	11
255	DKF0000I	学習支援業	135.1	10
256	DKFA000I	学習塾	113.8	10
257	DKFB000I	外国語会話教室	21.3	10
258	DKGC000I	自動車整備業	5.4	8
259	SBA0000I	サービス業	1346.3	10
260	SBA1000I	对个人サービス業	569.5	8
261	SBA2000I	对事业所サービス業	776.8	11
262	SBB0000I	広義对个人サービス	4846.2	9
263	SBB1000I	広義非選択的个人向ナサービス	2641.1	9
264	SBB2000I	広義选择的个人向ナサービス	2205.1	9
265	SBC0000I	広義对事业所サービス	5153.8	10
266	SBCB100I	製造業依存型事业所向ナサービス	1281	10
267	SBCB200I	非製造業依存型事业所向ナサービス	3891	10
268	SBD1000I	産業使用者向け卸売業	847.7	11
269	SBD2000I	小売業向け卸売業	681.3	10
270	SBE1000I	消費向けサービス	4846.2	9
271	SBE2000I	投資向けサービス	909.6	10
272	SBF1000I	設備型サービス	2002.9	10
273	SBF2000I	人手型サービス	7997.1	9
274	SBRA000I	観光関連産業	536.4	9
275	SBRB000I	スポーツ関連産業	102.1	10
276	SBRC000I	飲食関連産業	706.6	10
277	SBRD000I	自動車関連産業	362.8	8
278	SBRE000I	資金提供関連産業	531.3	10
279	SBRF000I	建設関連産業	269.1	8
280	SBRG000I	コンテンツ関連産業	283	10
281	SBRH000I	高齢者世帯特化サービス	2575.8	9
282	SBRI000I	グローバル出荷(海外出荷)指数連動サービス	1560.7	10
283	SBRJ000I	広告関連産業	74.9	10
284	SBRK000I	インターネット広告関連産業	15.4	7
285	SKEA000I	3次総合(除く電気・ガス・熱供給・水道業)	9702	10

再編集系列は品目番号が「SB…」
もしくは「SK…」になっています。

274 SBRA000I 観光関連産業

例えばこの「観光関連産業」という系列は

- ・鉄道旅客運送業
- ・タクシー業
- ・国際航空旅客運送業
- ・道路施設提供業
- ・旅館
- ・国内旅行
- ・外人旅行
- ・バス業
- ・水運旅客運送業
- ・国内航空旅客運送業
- ・自動車レンタル業
- ・ホテル
- ・海外旅行
- ・遊園地・テーマパーク

という皆さんが観光する際に利用するようなサービス業を一括りにした系列です。

もう少し詳しい解説をして欲しいんだけど…

http://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/mailmaga_index.html

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

ホーム | 経済産業省について | お知らせ | 政策について | 統計 | 申請・お問合せ | English

統計 > 第3次産業活動指数(トップページ) > 集計結果又は推計結果 > 最新結果の概要

第3次産業活動指数 最新結果の概要

結果の概要 | 業種別動向 | ダウンロードのご案内

最新月次データ | 時系列データ | サービス産業(第3次産業)活動回表集 | 過去の月次データ | 3次指数紹介マンガ

結果の概要【プレス情報 2016年4月分】(2016年6月10日発表)

第3次産業活動は一進一退

- 平成28年4月の第3次産業活動指数は、104.6、前月比1.4%の上昇。
- 広義対個人サービスは同0.8%、広義対事業所サービスは同2.2%のそれぞれ上昇となった。
- 総じてみれば、第3次産業活動は一進一退で推移している。

	2016年4月		2016年1-3月期	
	前月比	前年同月比	前期比	前年同期比
第3次産業活動指数	1.4	1.1	0.2	0.9
広義対個人サービス	0.8	0.6	0.0	0.6
広義対事業所サービス	2.2	1.5	0.1	1.3

経済解析室 facebook

- 鉱工業指数 (IIP)
- 第3次産業活動指数
 - お知らせ等
 - 公表予定
 - 統計の概要
 - Q & A
 - 最新結果の概要
 - 統計表一覧(データ)
 - 利用上の注意、用語
 - 過去の結果概要
- 産業活動指数
- 鉱工業出荷内訳表、総供給表
- お役立ちミニ経済解説
- 経済解析室ニュース

数字やグラフだけだと、いまいち内容がわからないという方は、当室が公表しているコンテンツを解説した「経済解析室ニュース」を御覧ください。
概要ページの右側（スマホ等だと下側）からページに飛ぶことができます。

もう少し詳しい解説をして欲しいんだけど…

http://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/mailmaga_index.html

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

本文へ > よくあるご質問 > サイトマップ

文字サイズ変更 小 中 大

サイト内検索 検索 > 拡張検索

ホーム 経済産業省について お知らせ 政策について 統計 申請・お問合せ English

統計 > 経済解析室ニュース

印刷

経済解析室ニュース

このページでは経済解析室から発信したニュースをご覧ください。
経済解析室ニュースの文書は経済解析室に属するものであり、ご意見、ご質問は下記問合せ先までお寄せ下さい。

経済解析室ニュース一覧

配信日	タイトル
2016/6/15	4月の鉱工業生産は、2か月連続上昇だが、その伸び幅は小さく、稼働率も前月比マイナス。鉱工業出荷は、設備投資向けや消費財の国内向けが前月比上昇。投資向けサービスも4月は大きく上昇
2016/6/10	投資向けサービスが際立った前月比上昇をみせ、4月の第3次産業活動指数は、(ほぼ8年ぶり)の高水準。基調判断は、「一進一退」のみに引き上げ
2016/6/6	鉱工業生産の前期比マイナスを、第3次産業活動(サービスビジネス)で補えず、産業全体で見ると、あまり活況とは言えなかった平成28年1-3月期の産業活動。スライド資料をアップしています
2016/5/31	平成28年4月の鉱工業生産は、前月比0.3%の微増。結果的に、地震の影響は幸いにも軽微なものとなったが、先行きの見通しについては、良くも悪くもない結果に

経済解析室 facebook

- ① 鉱工業指数 (IIP)
- ② 第3次産業活動指数
- ③ 全産業活動指数
- ④ 鉱工業出荷内訳表、総供給表
- ⑤ お役立ちミニ経済解説
- ⑥ 経済解析室ニュース

投資向けサービスが際立った前月比上昇をみせ、4月の第3次産業活動指数は、(ほぼ8年ぶり)の高水準。基調判断は、「一進一退」のみに引き上げ
2016年6月10日

第3次産業活動指数 結果の概要【平成28年4月分】

— 第3次産業活動は一進一退 —

- ・平成28年4月の第3次産業活動指数は、104.6、前月比1.4%の上昇となった。
- ・広義対個人サービスは同0.8%、広義対事業所サービスは同2.2%のそれぞれ上昇となった。
- ・総じてみれば、第3次産業活動は一進一退で推移している。

項目	2016年4月		2016年1-3月期	
	前月比	前年同月比	前期比	前年同期比
第3次産業活動指数	1.4	1.1	0.2	0.9
広義対個人サービス	0.8	0.6	0.0	0.6
広義対事業所サービス	2.2	1.5	▲0.1	1.2

平成28年4月の第3次産業活動指数は、前月比1.4%上昇と、2か月ぶりに、第3次産業活動指数としては大きめの前月比上昇となりました。指数値104.6というのは、平成26年3月の駆け込み需要期の指数水準を除けば、ほぼ8年ぶり、平成20年(2008年)5月の104.7以来の高い指数となりました。

4月の鉱工業生産指数も2か月連続の上昇となっており、財生産、サービスともに、停滞感のあった第1四半期とは異なる印象を受ける結果でした。

平成28年4月の第3次産業活動指数の動き

(22年=100、季節調整済)

「経済解析室ニュース」では毎月の統計情報に加え、その他の分析についても掲載しています。

第3次産業活動指数のニュースでは概要ページには掲載していない上昇・低下要因や四半期でみた動きの解説も御覧いただけます。

数字ばかりでおもしろくない！ もっと興味がわくものはないの？

<http://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/minikaisetsu-hitoikoto-top.html>

これまで紹介したように、HPではいくつかのデータを提供しておりますが、正直数字ばかりでよくわからない、ということが読み取れるのかわからないということもあるかと思えます。

そのようなときは当室から配信しております

「経済解析室ひと言解説集」を御覧ください。

身近な話題、時事ネタなど当室公表の統計をもとに簡単に分析したひと言解説を掲載しています。

数字ばかりでおもしろくない！ もっと興味がわくものはないの？

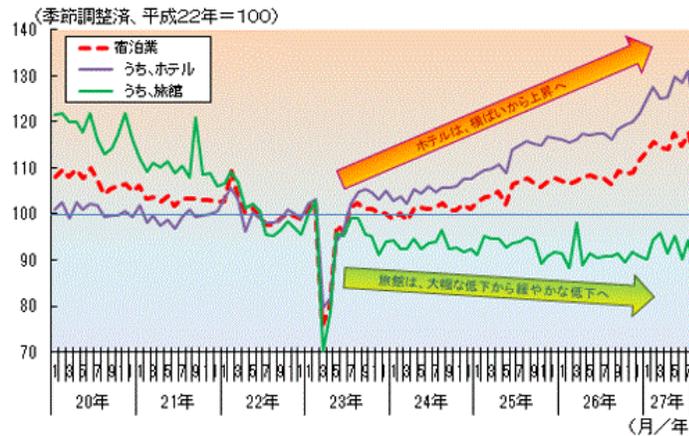
http://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/minikaisetsu/hitokoto_kako/20151030hitokoto.html

好調なはずの宿泊業ですが、相対的に旅館は不調

シェア 188

最近、旅行や出張時に国内のビジネスホテルが満室で予約が取れない、宿泊料金が上がっているという話題を耳にします。その理由のひとつとして、日本を訪れる外国人旅行者が増加していることがあげられます。そこで、今回は、第3次産業活動指数の中の「宿泊業」の動向をみていきたいと思います。

宿泊業とその内訳(ホテル・旅館)の推移



最初のグラフは、第3次産業活動指数の「宿泊業」の動向をグラフにしたものです。

例えば、この「ひと言解説」は最近、日本を訪れる外国人旅行者が増加していること、それによって国内のビジネスホテルの予約が取れないという時事ネタから第3次産業活動指数の「宿泊業」をその内訳の「ホテル」と「旅館」で分けてみて、分析したものです。

他にもいろいろな分析を掲載しております。
是非御覧ください！

経済解析室では

- ・Facebook
- ・Twitter
- ・スライドシェア

でも公表データの見方や使い方、分析などをご紹介します。

気に入った分析等ありましたら、是非お友達に共有してみたいは？

以上でHP案内スライドは終了です。

第3次産業活動指数で

こういうデータを使いたいはどこにあるか、

こういう分析をしたいがどうしたらよいかなど、

よくわからないという際はお気軽にお問い合わせください！

経済解析室 第三次産業指数班

Tel: 03-3501-1511 (代表) (内線2854) , 03-3501-1644 (直通)

FAX: 03-3501-7775

E-mail: qqcebc@meti.go.jp